

セコム(株)の協力により 高齢者向けコミュニケーションサービスの実証実験を開始

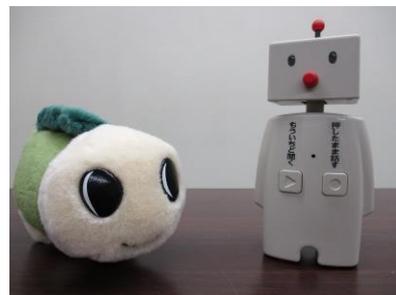
区は、セコム株式会社(以下「セコム」と協働して、コミュニケーションロボット「BOCCO(ボッコ)」を使った高齢者見守りサービスの実証実験を、東京都の自治体で初めて開始します。

区は、高齢者が孤立することなく住み慣れた地域で安心して生活できるよう、セコムと協働してコミュニケーションロボット「BOCCO(ボッコ)」を活用した高齢者見守りサービスの実証実験を開始します。

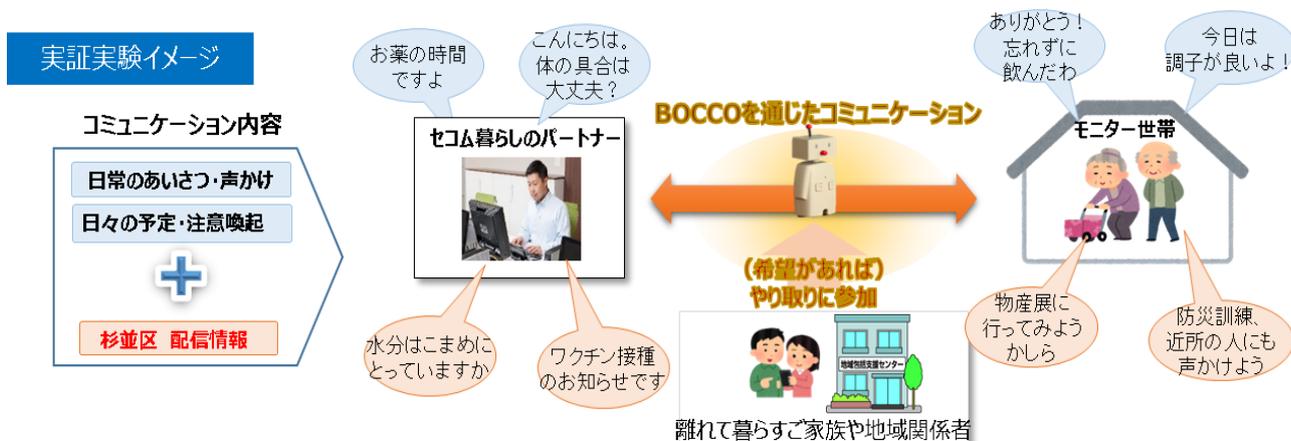
セコムが提供する本サービスは、「BOCCO(ボッコ)」を通じて「定期的な挨拶」や「状況に合わせた声かけ」を行い、高齢者に『誰かとつながる安心感』を提供するサービスです。ボタンを押すだけの簡単な操作で高齢者はメッセージを返信することができ、またご家族などがアプリを利用すればセコムとのやり取りの閲覧やメッセージを送信することが可能です。

杉並区在住の高齢者を対象に、地域包括支援センター(ケア24)を通して、8月末に無料モニターの募集を開始し、9月以降順次20名程度の方にご利用いただく予定です。

セコム暮らしのパートナー久我山の浅沼所長は、「何かあったときに駆け付けるのも大切ですが、何か起きる前に気づいてあげるのは、もっと大切です。そのためには日頃のコミュニケーションによる繋がりが不可欠ですので、今回の実証実験のご提案をさせていただきました。杉並区の高齢者の皆様が、「BOCCO(ボッコ)」を通して、住み慣れた地域で安心して暮らしていくお手伝いできればと思っております。」とコメントしました。



▲BOCCO(ボッコ)



【問い合わせ先】

高齢者在宅支援課：03-3312-2111 内線3231
総務部広報課：03-3312-2111 (代表)